

ハンセン病療養所と軽快退所

社会科学

こんどう ゆうしょう
近藤祐昭 編著

▼A5判・並製カバ―・152頁・定価1500円

2026年3月刊行



ハンセン病隔離政策とは、何だったのか。病状が軽快し許可を得て退所した人数とその推移を追う。隔離政策の実態に迫る一步とする書。

【目次】

はじめに(近藤祐昭)

1章 長島愛生園を訪ねて(近藤祐昭)

2章 ハンセン病隔離政策は何だったのか(近藤祐昭)

3章 ハンセン病療養所における退園と社会復帰について(近藤祐昭)

4章 ハンセン病療養所における退園・逃走・死亡などについて(近藤祐昭)

5章 ハンセン病患者との共感・共生——網脇龍妙「身延深敬病院」を主として(近藤祐昭・岡山良美)

6章 ハンセン病元患者(回復者)の人権(平野昭)

あとがき(近藤祐昭)

◆編著者略歴

近藤祐昭(こんどう ゆうしょう)

一九四五年生まれ。一九六七年日本社会事業大学卒業。一九七三年大谷大学大学院修士課程修了。同朋大学教員、四天王寺大学大学院教員を歴任し、現在、愛知部落解放・人権研究所理事。主要著書に、『部落差別と真宗の課題』(永田文昌堂)、『宗教的平等と差別』(明石書店)、『差別の現実と教育の課題』(明石書店)、『仏教社会福祉入門』(共著、法蔵館)。

◆執筆者略歴

岡山良美(おかやま よしみ)

一九八八年生まれ。二〇一一年北海道教育大学卒業。二〇一三年四天王寺大学大学院人間福祉学専攻博士前期課程修了。二〇一三年北海道庁入庁。二〇一四年宗教法人仏教護念会教団勤務。

平野昭(ひらの あきら)

一九三二年生まれ。一九四八年ハンセン病発病。一九五〇年駿河療養所入所。一九五七年多磨全生園に自己転園(多磨全生園で結核にかかった兄の看護のため)。一九六三年多磨全生園を自己退所し、社会復帰(二〇年くらい社会生活をして、ふたたび多磨全生園に入る)。二〇〇四年社会復帰。

注文書

(書店印)

ご担当

様

冊

法蔵館

定価 1500円

ご住所

近藤祐昭 編著

ハンセン病療養所と
軽快退所

ISBN: 978-4-8318-5752-1 C 3036

お電話

お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp